

令和3年度大磯町教育委員会第5回定例会議事録

1. 日 時 令和3年8月19日（木）
開会時間 午前9時30分
閉会時間 午前10時20分
2. 場 所 大磯町役場4階第1会議室
3. 出席者 熊 澤 久 教育長
濱 谷 海 八 教育長職務代理者
曾 田 成 則 委員
トーリー 二葉 委員
大 槻 直 行 教育部長
瀬 戸 克 彦 町民福祉部長
波多野 昭 雄 学校教育課長
柳 田 美千代 子育て支援課長
谷 河 かおり 生涯学習課長兼生涯学習館長
國 見 徹 生涯学習課郷土資料館長
佐 藤 聡 生涯学習課図書館長
北 水 慶 一 歴史・文化担当主幹兼郷土資料館副館長
添 田 健 学校教育課主幹兼教育指導係長
片 野 剛 志 学校教育課企画調整担当係長
田 中 恵 子 （書記）学校教育課副課長兼教育総務係長
4. 欠席者 なし
5. 傍聴者 3名
6. 付議事項
議案第11号 大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について
議案第12号 令和3年9月補正予算における教育委員会関連予算要求について
4. 報告事項
報告事項第1号 令和2年度教育委員会所管決算見込みについて
報告事項第2号 教育委員会事務職員の人事異動について
報告事項第3号 中学校部活動夏の大会結果について
報告事項第4号 教育課題研修会の開催結果について
報告事項第5号 大磯町文化財専門委員の委嘱について
報告事項第6号 郷土資料館来館者100万人達成について
報告事項第7号 令和3年度第1回大磯町子ども・子育て会議について
5. その他

教育長) 皆様、おはようございます。本日はお忙しいところ、お集まりいただきましてありがとうございます。

それでは、ただいまから、令和3年度大磯町教育委員会第5回定例会を開催いたします。

本日の会議の内容ですが、付議事項2件、報告事項7件でございます。

本日は4名全員出席しておりますので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第14条第3項の規定により、定例会は成立いたしました。

なお、本日は傍聴を希望される方が見えておりますので、大磯町教育委員会会議規則第12条及び第17条の規定により、傍聴を許可いたします。

暫時休憩します。

～ 休憩 ～

【令和3年度第4回定例会の議事録の承認】

教育長) 休憩を閉じて再開します。

それでは、はじめに「令和3年度第4回定例会議事録」の承認をお願いします。

まず「令和3年度第4回定例会議事録」は、お手元に配付しました内容のとおりでよろしいでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、「令和3年度第4回定例会議事録」については、ご承認いただいたものといたします。

諸行事につきましては、執行状況表のとおりです。今後の予定につきましては、執行予定表をご参照ください。

次に、7月定例会から本日までの間に、教育長に委任された事務で重要なものに関する事、専決した事項に関する事についての報告はございません。

本日の報告は、以上でございます。

【議案第11号 大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について】

教育長) それでは、議事に入ります。はじめに、議案第11号『大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について』を議題といたします。書記より議案の朗読をお願いします。

書記) 議案第11号『大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について』、本文については省略いたします。令和3年8月19日提出、大磯町教育委員会教育長、熊澤久。

以上です。

教育長) それでは、事務局から提案理由の説明をお願いします。

教育部長) 議案第11号『大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について』、提案理由の説明をいたします。

本案については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第13条第1項、同法施行令第14条並びに学校教育法附則第9条の規定に基づき、大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について提案するものでございます。

詳細につきましては、学校教育課主幹より説明しますので、よろしくご審議の上、ご承認くださるようお願いいたします。

学校教育課主幹) 議案第 11 号『大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について』、補足説明をさせていただきます。

本件につきましては、すでに7月定例会におきまして採択いただきましたが、表の色塗り部分「図画工作5・6下 見つめて広げて(図工 504) 拡大版」が抜けておりました。

したがいまして、10教科11種目について、別紙のとおり「特別支援学級で使用する教科用図書一覧」として改めて提案し、採択をさせていただきたいと思っております。

事務局のミスによりお手数をおかけすることになり大変恐縮ですが、どうぞご審議のほどよろしくお願いいたします。

教育長) ただいま事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見があればお願いします。

トーリー委員) 5、6年の下巻が抜けていたということですね。

学校教育課主幹) 下巻が抜けていまして、上下セットでお渡しするものだったということです。

トーリー委員) 私どもも気付かきませんで、申し訳ありませんでした。

学校教育課主幹) 進級した後に渡すものところでは認識していたのですが、そうではなくて、5年生になった時に上下共にお渡しするという事です。

トーリー委員) はい承知いたしました。日文さんですでに決まっていることなので、特に不都合はないかと思っておりますので、私は良いと思っております。

教育長) ありがとうございます。他にはよろしいでしょうか。

曾田委員) 特にはありません。意見が何も届いていませんから、何事もないので、問題ないと思っております。

教育長) 他にご意見がないようでしたら、ここで採決に入ります。議案第11号『大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について』、特にご異議がなければ、原案のとおり採択したいと思います。ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第11号「大磯町立小学校の特別支援学級で使用する教科用図書の採択について」は、原案のとおりご承認いただいたものとします。

【議案第12号 令和3年9月補正予算における教育委員会関連予算要求について】

教育長) 次に、議案第12号『令和3年9月補正予算における教育委員会関連予算要求について』を議題といたします。書記より議案の朗読をお願いします。

書記) 議案第12号『令和3年9月補正予算における教育委員会関連予算要求について』、本文については省略いたします。令和3年8月19日提出、大磯町教育委員会教育長、熊澤久。

以上です。

教育長) それでは、事務局から提案理由の説明をお願いします。

教育部長) 議案第12号『令和3年9月補正予算における教育委員会関連予算要求について』、提案理由の説明をいたします。

本案につきましては、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、令和3年9月補正に係る予算要求について、教育委員会の意見を伺うため、提案するものでございます。

詳細につきましては、学校教育課長、子育て支援課長、図書館長、郷土資料館長が説明いたしますので、よろしくご審議くださるよう、お願いいたします。
学校教育課長) 議案第 12 号『令和 3 年 9 月補正予算における教育委員会関連予算要求について』、ご説明いたします。

議案別紙をご覧ください。

はじめに、学校教育課分を説明いたします。

歳入です。予算科目は、款、国庫支出金、項、国庫補助金、目、教育費国庫補助金、節・細節が共に学校保健特別対策事業費補助金でございます。

こちらは、新型コロナウイルス感染症対策等の学校教育活動の継続等を支援するための国庫補助金でございます。

続いて、款、県支出金、項、委託金、目、教育費委託金、節、教育総務費委託金、細節が、かながわ学びづくり推進地域研究委託金でございます。

こちらは、「子ども同士の学びあう力」の育成のために、学校が行う研究・研修の活性化に対する県委託金でございます。

続いて、歳出です。

予算科目は、款、教育費、項、教育総務費、目、教育指導費、事業名は健康管理事業、節、委託料、細節、就学时健康診断会場設営委託料です。

こちらは、新型コロナウイルス感染症対策に伴う就学时健康診断会場設営委託料でございます。これまで、町立幼稚園で実施していた就学时健康診断の会場を、小学校体育館に変更することに伴う会場設営に係る委託料です。

その下の予算科目は、款・項・目は同じで、事業名は教育研究所維持管理・運営事業、節・細節は、報償費、講師等謝金、その下が、節・細節が旅費、費用弁償、その下が節・細節が、報償費、消耗品費です。

いずれも、かながわ学びづくり推進地域研究に伴う講師等謝金、先進校視察のための費用弁償、消耗品費を増額するものです。

裏面をご覧ください。続いて、小学校費です。

款、教育費、項、小学校費、目、学校管理費、事業名は学校運営事業、節・細節は、需用費、消耗品費、その下が備品購入費、学校備品購入費、いずれも、新型コロナウイルス感染症対策に伴う消耗品費、学校備品購入費を増額するものです。マスクや石鹸、空気清浄機などを購入するものでございます。

次に、事業名が学校施設・設備維持事業、節・細節は、需用費、修繕料、こちらは新型コロナウイルス感染症対策に伴う修繕料の増です。大磯小学校の保健室にカーテンを設置いたします。

次に、事業名が小学校施設整備事業、節・細節は、いずれも工事請負費、こちらは、新型コロナウイルス感染症対策に伴い小学校の手洗い場を自動水栓に交換するものです。約 300 か所の手洗い場を自動水栓といたします。

次に、目が学校給食費、事業名は学校給食運営事業、節・細節は、需用費、消耗品費。こちらは、新型コロナウイルス感染症対策に伴う消耗品の増でございます。

次に、中学校費です。

項、中学校費、目、学校管理費、事業名は学校運営事業、節・細節は、役務費、通信運搬費、こちらは、新型コロナウイルス感染症対策に伴う受験関係書類郵送代の増額でございます。その下が、備品購入費、学校備品購入費、こちらは、新型コロナウイルス感染症対策に伴う備品購入費の増額で、空気清浄機等の購入費用でございます。

次に、事業名が中学校施設整備事業、節・細節は、いずれも工事請負費、こちらは、小学校と同様に、感染症対策として手洗い場を自動水栓に交換するものでございます。約 160 か所の手洗い場を自動水栓といたします。

学校教育課は以上でございます。

子育て支援課長) 続きまして、幼稚園費になります。項、幼稚園費、目、幼稚園費、事業名は幼稚園施設・設備維持事業です。節・細節共に工事請負費です。こちらは、新型コロナウイルス感染症対策に伴う町立幼稚園 2 園のトイレの手洗い場の自動水栓化の工事請負費となります。以上です。

図書館長) 続いて説明いたします。

歳出になります。予算科目は教育費、社会教育費、図書館費、事業名は図書館運営事業、節・細節は、役務費、通信運搬費でございます。

補正の理由でございます。生涯学習課事務室移転に伴い、電話機 4 台及び電話回線 3 回線の増設を行うものです。

続きまして、事業名は図書館資料整備事業、節・細節は、需用費、消耗品費、その下が委託料、電子図書館初期導入委託料、その下が使用料及び賃借料、クラウド利用料でございます。

補正の理由でございます。新型コロナウイルス感染症感染拡大を防止するため、緊急事態宣言時における臨時休館に対応するとともに、利用者に対して来館頻度を抑制し、自宅などで図書館資料が閲覧できるよう、町民に対して生涯学習の機会を確保するため、電子図書館の構築及び電子書籍を導入するものです。

図書館からの説明は、以上でございます。

郷土資料館長) 予算科目は教育費、社会教育費、郷土資料館費です。事業名は郷土資料館維持管理事業、節は需用費、細節は修繕料です。補正理由としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う郷土資料館トイレ手洗い場自動水栓交換等修繕料の増です。

教育長) ただいま、事務局から説明がありましたが、ご質問、ご意見があればお願いします。

<質疑応答>なし

教育長) 質疑を打ち切ります。討論を省略し採決に入ります。議案第12号について、原案どおり、ご異議ありませんでしょうか。

各委員) 異議なし。

教育長) 異議なしの声がありましたので、議案第12号『令和3年9月補正予算における教育委員会関連予算要求について』は、原案どおりご承認いただいたものとします。

【報告事項第1号 令和2年度教育委員会所管決算見込みについて】

教育長) 続きまして、報告事項に移ります。それでは、報告事項第1号『令和2年度教育委員会所管決算見込みについて』、事務局より報告をお願いします。

学校教育課長) 報告事項第1号『令和2年度教育委員会所管決算見込みについて』、説明いたします。お手元の資料をご覧ください。

はじめに、大磯町全体の一般会計歳入・歳出決算見込額でございます。一番上の「一般会計歳入決算見込額」をご覧ください。歳入の決算見込額は、収入済額 147 億 6,934 万 198 円で、前年度との比較で約 25%の増。歳出の決算見込額は、次の表「一般会計歳出決算見込額」をご覧ください。支出済額は 141 億 5,243 万 3,502 円で、前年度との比較で約 29.9%の増となります。

それでは、教育委員会所管の歳出決算見込額についてご説明します。

3番目の表「教育委員会所管歳出決算見込額」の科目、教育総務費の支出済額をご覧ください。支出済額は3億3,317万2,776円で、前年度との比較で約8.8%の増、不用額の予算額に対する割合は約4.5%です。

前年度との比較で増となった主な要因につきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として消毒用アルコールやマスクなどの衛生物品等の購入、また、教育施設等長寿命化計画の策定費用や大磯中学校視聴覚室のエアコン更新などの経費の増によるものでございます。

次に科目、小学校費の支出済額は3億677万7,229円で、前年度との比較で約151.3%の増、不用額の予算額に対する割合は約8.3%です。

前年度との比較で増となった主な要因につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言を受け、GIGAスクール構想の早期実現に向け導入したICT機器、また、感染症防止対策に係るスポットエアコン、マスクやハンドソープなどの経費の増。臨時休校に伴う給食費補助の実施。大磯小学校グラウンドへの防球ネット設置や放送設備更新工事、国府小学校体育館照明交換修繕、国府小学校プールのプールサイド改修などの経費の増によるものでございます。

次に科目、中学校費の支出済額は1億2,253万2,243円で、前年度との比較で約146.3%の増、不用額の予算額に対する割合は約8.3%です。

前年度との比較で増となった主な要因につきましては、小学校費と同様に、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言を受け、GIGAスクール構想の早期実現に向け導入したICT機器、また、感染症防止対策に係るスポットエアコン、マスクやハンドソープなどの経費の増によるものでございます。

次に科目、幼稚園費の支出済額は1億2,979万6,455円で、前年度との比較で約13%の減、不用額の予算額に対する割合は約3.9%です。

前年度との比較で減となった主な要因は、令和元年10月から開始された幼児教育・保育の無償化による私立幼稚園就園補助事業の廃止による減と、大磯幼稚園の空調設置工事が完了したことによる施設整備事業費の減によるものです。

最後の科目、社会教育費の支出済額は1億7,567万1,925円で、前年度との比較で約5.1%の増、不用額の予算額に対する割合は約8.2%です。

前年度との比較で増となった主な要因につきましては、文化財保護事業での大磯御船祭山車等修理補助金の交付による増。また、新型コロナウイルス感染症予防対策に係る図書館運営事業での書籍消毒機の購入によるものです。

以上の決算見込額により決算書を作成し、9月大磯町議会定例会に提出し、承認を求めることになります。令和2年度教育委員会所管決算見込額の概要説明は以上でございます。

教育長) ただいま事務局から報告のありました件につきまして、ご質問等があればお願いします。

<質疑応答>なし

教育長) よろしいでしょうか。

【報告事項第2号 教育委員会事務職員の人事異動について】

教育長) 次に、報告事項第2号『教育委員会事務職員の人事異動について』、事務局より報告をお願いいたします。

学校教育課長) 報告事項第2号『教育委員会事務職員の人事異動について』、説明をさせていただきます。

資料の裏面をご覧ください。

こちらは、令和3年8月1日付の人事異動でございます。

片野剛志係長につきましては、町民福祉部スポーツ健康課健康増進係長(町民福祉部スポーツ健康課新型コロナウイルスワクチン接種担当主査兼務)から、教育委員会教育部学校教育課企画調整担当係長に異動となり、教育委員会の人員体制が再強化されました。

今回の人事異動により、学校教育における重点施策を推進するうえで、検討や調整が必要な課題に対し、企画調整役として期待されているところでございます。

現時点で具体的には、教育ビジョンの作成、学校教育施設等の長寿命化計画の実施、中学校昼食の支援、教育のICT化、学校教育施設のマネジメントなど、大磯町の教育をより一層充実させるために行われたものでございます。

説明は以上です。

教育長) ただいま事務局から報告がありました件につきまして、ご質問等があればお願いいたします。

濱谷委員) 教育ビジョンの作成も一つの業務だということで、大変嬉しいことだと思います。教育長のもとで、しっかりとした大磯らしい教育ビジョンの作成を期待しております。感想としては以上です。

教育長) ありがとうございます。それではよろしいでしょうか。

【報告事項第3号 中学校部活動夏の大会結果について】

教育長) 次に、報告事項第3号『中学校部活動夏の大会結果について』、事務局より報告をお願いいたします。

学校教育課主幹) 報告事項第3号『中学校部活動夏の大会結果について』、ご報告申し上げます。

今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、活動に様々な制限がかかる中、日頃からの練習の成果を発揮し、各校ベストを尽くしました。

それでは、資料に沿って、県大会以上の結果について報告いたします。まず、大磯中学校、裏面が国府中学校になっております。それぞれ上の表が団体の部、下の表が個人の部となっております。

まず、大磯中学校の団体の部について報告いたします。ソフトテニス部男子団体は県大会で優勝し、関東大会へ出場しました。関東大会では2回戦まで進みました。吹奏楽部は、神奈川県吹奏楽コンクールで金賞をおさめました。個人の部では、柔道部女子個人で2年生の大泉わかばさんが県大会で優勝し、関東大会・全国大会への出場を決めました。関東大会では惜しくも1回戦敗退となりましたが、8月24日に行われる全国大会に向けて練習に励んでいるとのこと。ソフトテニス部では、男子ペア3組が県大会で好成績をおさめ、関東大会に出場しました。関東大会では2回戦まで進みました。卓球部では、男子1名、女子1名が、県大会に出場しております。

次に、裏面をご覧ください。国府中学校について報告いたします。まず、団体の部ですが、卓球部が男子女子ともに県大会へ出場し、男子は9位となりました。吹奏楽部は、神奈川県吹奏楽コンクールで金賞をおさめて県の代表となり、9月18日に行われる東関東吹奏楽コンクールへ出場することになりました。個人の部では、卓球部で男子

1名、女子2名が、県大会に出場しております。

大磯中学校女子柔道の全国大会と国府中学校吹奏楽の東関東吹奏楽コンクールの健闘を祈りたいと思います。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動に制限がかかる中でも、各校の生徒が努力を積みあげ、顧問の教員、地域指導者の皆さん、保護者の皆さんの指導や支援、協力によって得られた結果であると考えています。

中学校部活動、夏の大会結果の報告は以上です。

教育長) ただいま、事務局から報告のありました件につきまして、ご質問等があればお願いします。

濱谷委員) 感想です。報告にありましたように、大磯中学、国府中学の生徒諸君、顧問の先生方、そして保護者の皆さんの協力によって素晴らしい成績が得られました。さらなる活躍に期待をしているところです。ご苦労様でした。

トーリー委員) コロナが収束どころか、どんどん拡大傾向となっていてきておまして、また緊急事態宣言も延長したという中で、部活動においても、先生方や保護者の皆様の心配があったことと思います。子どもたちが思うように活動ができないということは、とても残念だし大変だなと思うのですが、その中で頑張って成績を出してくれていることが本当にすごいなと感心します。一日も早いコロナの収束を願っております。

曾田委員) 大磯中学校の柔道の大会で優勝されました、大泉わかばさんの件ですが、私がたまたま見ておりましたネットのニュースに出ておまして、地域で頑張っている優秀な方がいるのだと大変嬉しく思いました。

教育長) ありがとうございます。よろしいでしょうか。

教育委員会といたしまして、大磯中学校の女子の柔道とソフトテニスの男子、それから国府中学校の吹奏楽部の関係は横断幕を作らせていただき、学校に掲げておりますことをご報告いたします。

【報告事項第4号 教育課題研修会の開催結果について】

教育長) 次に、報告事項第4号『教育課題研修会の開催結果について』、事務局より報告をお願いいたします。

学校教育課主幹) 報告事項第4号『教育課題研修会開催結果について』、報告いたします。

令和3年8月3日(火)午後開催しました。参加者は、大磯町立幼稚園・小・中学校教職員及び国府保育園の希望者で、今回は新型コロナウイルス感染拡大を鑑みてオンラインにて開催しました。

内容としては、コミュニティ・スクールについて理解を深めるために、厚木市教育委員会社会教育課社会教育指導員の中川洋太先生を講師にお招きし、厚木市の事例を交えながら、これから求められるコミュニティ・スクールの在り方について、様々なお話しいただきました。

参加者の感想としては、抜粋になりますが、例えば、資料三つ目の、「地域と学校が課題を共有し連携することで、教員だけではできなかった幅広い体験活動が可能になることを実感した。地域の方たちと関係を築いていくことは簡単なことではないと思うが、教員自身が視野を広げて取り組んでいきたい。」、また、五つ目、「コロナウイルスの影響で学校行事が激減し、学校と家庭、地域とのつながりが薄くなっている。コミュニティ・スクールの導入で地域と学校がつながりを取り戻すことができるかもしれない。」などの肯定的な意見が多く上がっていました。

裏面をご覧ください。一方で、五番目、「地域と協働することのメリットは大きい、教員の負担が増えることがないように配慮してほしい。働き方改革の推進につなげられるとよい。」といった、多忙化につながるのではないかという意見もいただきました。コミュニティ・スクールの推進にあたっては、先生方の負担が増えないよう工夫していきたいと考えております。

概ね、コミュニティ・スクールについてはかなりご理解を深めて頂いたのではないかと手応えを感じております。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今回はオンライン開催としましたが、このことについても、多くの参加者より高評価の声をいただきました。旅費や時間の節約にもなるのご意見もあり、今後の研修会においても積極的に活用を検討していきたいと考えております。

今回の研修には、教育委員さんの皆様にもご参加いただきました。お忙しい中、どうもありがとうございました。

報告は以上でございます。

教育長) ただいま事務局から報告のありました件につきまして、ご質問等があればお願いいたします。

曾田委員) 感想ですけれども、コロナ禍で色々な会議の形態が変わってきておまして、これだけの会合を上手に仕切った当日の司会者に敬意を表したいと思います。ありがとうございました。

トリー委員) 私たちも立ち会わせていただき、ありがとうございました。とてもよかったですと思います。ただ、音声はかなり聞き取りづらく、リハーサルも出来ずにやったということもあるのでしょうけれど、その辺はまだ改善点があるのかなと思っております。

少し話はずれますけれど、この先、神奈川県や教育委員会のほうでも時差登校などの話が出てきているかと思うのですが、夏休み明けに大磯の小中学校はどのように考えているのかを伺いたい。

また、それこそオンライン授業を念頭に置いた場合、この間のような聞き取りにくいということがあるので、その辺りのテストなどがしっかり出来ているのか気になることがありますので、お伺いしたいと思います。よろしく申し上げます。

学校教育課主幹) まず、ZOOM の音声の聞き取りにくさについては、今後テストを重ねまして、例えばヘッドセットによる配信ですとか検討したいと思います。ただ、県教委が主催する ZOOM 研修会においても、どうしても聞き取りにくさというのは完全には取り除けないようで、やはり対面でやるのが一番かなと感じております。

それから、夏休み明けの学校の開始の仕方についてですが、いま各校長先生方と連絡を取り合っておまして、部活動についても、実施の仕方について考えたほうがいいのではないかとか、あるいは、短縮授業についても考えたほうがいいのではないかとかというお言葉もいただいておりますが、今後改めて検討する予定です。

トリー委員) では、決まり次第お伝えください。

教育長) 他にはよろしいでしょうか。

【報告事項第5号 大磯町文化財専門委員の委嘱について】

教育長) 次に、報告事項第5号『大磯町文化財専門委員の委嘱について』、事務局より報告をお願いいたします。

生涯学習課長) 報告事項第5号『大磯町文化財専門委員の委嘱について』ご説明をさせていただきます。

表紙をおめくりいただき、1頁をご覧ください。

まず、委嘱の理由でございます。現在、大磯町文化財専門委員の任期は、令和元年9月1日から令和3年8月31日までの2年間となっております、6名で構成されております。令和3年8月31日をもちまして、任期が満了となりますので、大磯町文化財保護条例に基づき、新たな任期をもって委員を委嘱するものでございます。

下の表は、今回、新たに委嘱する委員一覧でございます。専門分野を建築、彫刻、考古、民俗、植物、歴史と設定し、それぞれの分野における専門性を持った学識経験者をお願いいたします。

なお、表のうち、上から彫刻、考古、民俗、植物、歴史分野の委員につきましては、前期委員からの委嘱でございます。一番上段の建築分野の委員につきましては、新任として委嘱をいたします。

新たな任期は、令和3年9月1日から令和5年8月31日までとなります。

なお、次の2頁目には、委嘱の根拠となります法令の抜粋を掲載させていただいております。説明は以上です。

教育長) ただいま事務局から報告のありました件につきまして、ご質問等があればお願いいたします。

<質疑応答>なし

教育長) よろしいでしょうか。

【報告事項第6号 郷土資料館来館者100万人達成について】

教育長) 次に、報告事項第6号『郷土資料館来館者100万人達成について』、事務局より報告をお願いします。

郷土資料館長) 報告事項第6号『郷土資料館来館者100万人達成について』、説明させていただきます。

資料をお開きください。郷土資料館は昭和63年10月に開館して以来33年目を迎えておりますが、9,143日目にあたる、令和3年7月31日の12時35分に100万人目の方が来館されました。

100万人目該当者の方には町長から記念品が贈呈されました。

説明は以上です。

教育長) ただいま事務局から報告のありました件につきまして、ご質問等があればお願いいたします。

曾田委員) 前に館長から、この時期くらいに100万人達成があるだろうという話は聞いておりましたので、インターネットのニュースにも出ておりました。貰った方は大変驚いたのだろうなと思いながら記事を読ませていただきました。ありがとうございました。

教育長) 東京から何度かこちらにいらして、大磯を大変好きな方だったようで、ありがたかったなと思います。

他にはいかがですか。よろしいでしょうか。

【報告事項第7号 令和3年度第1回大磯町子ども・子育て会議について】

教育長) 次に、報告事項第7号『令和3年度第1回大磯町子ども・子育て会議につい

て』、事務局より報告をお願いします。

子育て支援課長) 報告事項第7号の『令和3年度第1回大磯町子ども・子育て会議について』、ご説明いたします。内容は会議結果の報告となります。

それでは、1ページをご覧ください。

日時、場所につきましては令和3年7月30日、金曜日、午前10時から午後0時10分まで。大磯町保健センター2階研修室で開催いたしました。出席者は、大磯町子ども・子育て会議の委員12名と、事務局として職員6名が参加しました。傍聴者は5名です。

内容としましては、「(1)委嘱状の交付」としまして、保護者会代表の改選や各機関の関係者の人事異動等に伴い、引き続き関係機関の中から新たに委員を委嘱させていただきました。資料として、2ページをご覧ください。新たに委嘱状を交付させていただきましたのは、「委員名簿」左欄の番号に「新」のマークをしました2名でございます。3番の委員につきましては、大磯町子ども・子育て会議規則の第3条第1号「教育・保育等の関係者」から、私立の認定こども園の代表として、サンキッズ国府の人事異動に伴い、新たに芝園長に委嘱いたしました。5番につきましては、同規則第3条第2号「幼稚園・保育園の関係者」から、町立及び私立の保育園の保護者会の代表の方とさせていただき、国府保育園保護者会代表の交代に伴い、大平様に委嘱いたしました。任期につきましてはいずれの方も前任者の残任期間である令和3年4月1日から令和4年8月20日までです。

それでは、1ページにお戻りください。「5 内容」の「(2)議題」につきましては、(ア) 第2期大磯町子ども笑顔かがやきプランの進捗状況の点検・評価(令和2年度)について、(イ) 大磯幼稚園の公私連携幼保連携型認定こども園への移行について、(ウ) 子育て支援センターの運営手法の見直しについて、(エ) その他として「大磯町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正」の再提案について、以上、4項目についてです。

各委員からは大変多くの貴重なご意見などをいただきましたので、今後の事務の参考とさせていただき、子ども・子育て事業を推進してまいります。

報告事項第7号の説明は、以上となります。

教育長) ただいま事務局から報告のありました件につきまして、ご質問等があればお願いします。

濱谷委員) 議題(イ)の大磯幼稚園の公私連携幼保連携型認定こども園への移行について、どのような議論がされたのか、簡単に概略を教えてください。

子育て支援課長) すでに、令和3年3月に政策決定で、大磯幼稚園が令和6年に認定こども園に移行することに決定しましたことにつきまして、昨年度もこちらの同会議で色々なご意見をいただきました。政策決定後、新たに会議が開催されましたので、その時の経緯を説明させていただきました。

濱谷委員) わかりました。ありがとうございます。

教育長) 他にはいかがでしょうか。

トリー委員) 同じく(ウ)の子育て支援センターの運営手法の見直しについて、こちらを具体的に教えてください。

子育て支援課長) 大磯町の子育て支援センターは、いま西部地区に子育て支援総合センターとして「めばえ」、東部地区に「すくすく」という令和元年から実施する二つのセンターがございます。それぞれ直営という形で運営をしているところですが、西部地区につきましては、児童の虐待などそういったところを職員が受け持っています。

また、お母さん方が集って、子育てのことをアドバイザーさんから聞いたり、自由に遊ばせることができるところがあり、会計年度任用職員を雇用して運営しております。そういった部分を民間に実施していただくことが出来ないか、また、今、それぞれの施設に来ていただくお母さんについては子育て支援課でも把握しているのですが、そこに来られない保護者の方については、どうやって子育て支援に繋げていくのか、そういったところも民の力で活性化していければなど、そういった手法についても町として考えておりますということを議題として挙げさせていただきました。

以上です。

トリー委員) はい。ありがとうございます。民の力も大いに借りて出来れば、虐待も大きな問題でもありますので、お子さんの心に傷を残さないように、町ぐるみで取り組んで行きたいと思っております。よろしく願いいたします。

教育長) よろしいでしょうか。

【その他】

教育長) 次に「その他」について、何かございますでしょうか。

各委員) なし。

教育長) それでは、事務局からお願いします。

■事務連絡

教育部長) 次回の教育委員会定例会は、9月22日水曜日、午前9時30分から本庁舎4階第1会議室で開催予定です。

教育長) それでは、以上をもちまして、令和3年度大磯町教育委員会第5回定例会を閉会いたします。お忙しい中、長時間に渡りご審議いただきまして、ありがとうございます。お疲れさまでした。

(閉会)

会議の経過を記載し、その相違ないことを証しここに署名する。

令和3年9月22日

教 育 長 熊 澤 久

教育長職務代理者 濱 谷 海 八

委 員 トーリー 二 葉

委 員 曾 田 成 則
